

計算書類の注記

1 重要な会計方針

計算書類の作成は、一般企業会計原則によっています

(1) 固定資産の減価償却の方法

建物は250%定率法、構築物は旧定額法、車両運搬具は定額法、器具備品は取得時期により

250%定率法、200%定率法、旧定額法、定額法によっています

(2) 引当金の計上基準

徴収不能引当金は、洗い替え法により、当期末未収残高に対してその50%を計上しています

2 固定資産の増減内容

科目	期首取得価格	取得	減少	期末取得価格	減価償却累計額	期末帳簿価格
建物	161,700			161,700	△ 161,699	1
車両運搬具	900,000			900,000	△ 356,250	543,750
器具備品	5,125,367	268,710		5,394,077	△ 4,445,048	949,029
合計	6,187,067	268,710	0	6,455,777	△ 4,962,997	1,492,780